

目 次

第 39 回大会研究報告

共通論題 1

趣旨説明	大石和欣	1
18 世紀における国際関係の動揺と「コスモポリタニズム」－フランスからの展望	王寺賢太	6
「啓蒙のドイツ」におけるコスモポリタニズム論－世界市民像とその限界	弓削尚子	16
世界市民フランクリンに見る対抗文化としてのコスモポリタニズム	金井光太郎	28
18 世紀西洋世界のコスモポリタニズム——コメントにかえて	勝田俊輔	39

第 40 回大会研究報告要旨

自由論題

アルカディア表象と共感の政治 —— 18 世紀末ドイツにおける旅行記と Nation、シラー——	大林侑平	49
カステル神父の「視覚クラヴサン」とイエズス会における普遍言語の探究	寺尾佳子	50
名古屋大学附属図書館所蔵西洋古典籍のデジタル化プロジェクトとその意義	松波京子	51
	飯田賢穂	52
<i>The Rambler</i> における統語的パラレリズム	小倉雅明	54

レクチャー・コンサート

「20世紀が変奏した18世紀」

55

2018年6月23日(土):17:30~18:30

会場:京都大学人文科学研究所大会議室

ピアノ奏者:小坂圭太 講師:岡田暁生

共通論題

啓蒙のリミット——神話・文学・政治思想の狭間で——	佐藤 淳 二	58
二つの18世紀 —アドルノとハーバーマスの「現代」をめぐる—	藤井 俊 之	61
中国の18世紀——2つの視点から——	井波 陵 一	64
フランス革命における後見人の問題——誰が誰の後見人になるべきか?——	上田 和 彦	68

論 文

18世紀フランスにおける自伝の語りの多層性	石田 雄 樹	71
-----------------------	--------	----

書 評

John H. Zammito, <i>The Gestation of German Biology: Philosophy and Physiology from Stahl to Schelling</i>	小林 直 子	86
ゲオルク・クリストフ・リヒテンベルク『リヒテンベルクの雑記帳』宮田眞治編訳	濱 中 春	87
ジョナサン・イスラエル『精神の革命 急進的啓蒙主義と近代民主主義の知的起源』森村敏己訳	後藤 正 英	89
Abigail Williams, <i>The Social Life of Books: Reading Together in the Eighteenth-Century Home.</i>	井石 哲 也	91
坂本武編『ローレンス・スターンの世界』	久保田 裕 紀	92

サミュエル・バトラー著『ヒューディブラス』飯沼万里子・三浦伊都枝・高谷修（編集）	近藤裕子	94
Sora Sato, <i>Edmund Burke as Historian: War, Order and Civilization</i>	桑島秀樹	95
Anthony W. Lee, ed., <i>New Essays on Samuel Johnson: Revaluation</i>	原田範行	97
Paul Sagar, <i>The Opinion of Mankind: Sociability and the Theory of the State from Hobbes to Smith</i>	若澤佑典	98
Elizabeth Robinson and Chris W. Surprenant eds., <i>Kant and the Scottish Enlightenment</i>	上野大樹	101
仙葉豊『さまざまなるデフォー』	西山徹	102
岩田美喜『兄弟喧嘩のイギリス・アイルランド演劇』	大西洋一	104
千森幹子『ガリヴァーとオリエント—日英図像と作品にみる東方幻想』	中島渉	106
鷺見洋一『一八世紀 近代の臨界 デイドロとモーツァルト』	井上櫻子	109
逸見龍生／小関武史編『百科全書の時空 典拠・生成・転位』	大橋完太郎	110
坂倉裕治『〈期待という病〉はいかにして不幸を招くのか —ルソー『エミール』を読み直す—』	田中マリア	113
アントワヌ・ド・クルタン『クルタンの礼儀作法書 十七、十八世紀フランス紳士淑女の社交術』増田都希訳	齋藤山人	115
アントワヌ・リルティ『セレブの誕生—「著名人」の出現と近代社会』 松村博史・井上櫻子・齋藤山人訳	大場静枝	116
Masano Yamashita, <i>Jean-Jacques Rousseau face au public : problèmes d'identité</i>	井関麻帆	119
Catherine Volpillac-Auger, <i>Montesquieu</i>	辻部大介	120
Ryuzo Kuroki and Yusuke Ando (eds.), <i>The Foundations of Political Economy and Social Reform: Economy and Society in Eighteenth Century France</i>	上野大樹	121

展覧会評

Marc Michel Rey: Un libraire dans l'Europe des Lumières 坂倉裕治 124

Prized Possessions: Dutch Paintings from National Trust Houses 出羽尚 125

優雅な生活—18世紀ヨーロッパ貴族の装い 川島慶子 127

会員業績 129

編集後記 131

会則 132

役員選出に関する細則 134

投稿規定 135